

科目名	哲学・倫理学		英文表記	Philosophy and Ethics		平成27年2月20日	
科目コード	6004					作成	
教員名:青木久美 技術職員名:-							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			専2	選	学修	2単位	講義
授業期間							
後期							
科目目標	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違いなどについて説明できるようになる。 哲学や倫理学の諸問題、哲学の根本問題などについて考えられるようになる。 哲学者の思想や諸宗教の思想に触れ、人間とはどのような存在であると考えられてきたかについて理解するとともに、自分が人としていかに生きるべきかなど、自分の生き方や自分の人生について考えることができるようになる。 【Ⅲ-C】【Ⅶ-B】【Ⅶ-E】						
総合評価	学年評価は以下の通りである。 発表25%、レポート55%、ディスカッションでの発言や参加態度20%						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標		達成度目標の評価方法	ルーブリック		
					理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)
	80%	①	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違い、東洋思想と西洋思想の融合などについて理解し、説明することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	課題によって評価する。	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違い、東洋思想と西洋思想の融合などについて理解し、自分の考えも交えながら、論理的に説明することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違い、東洋思想と西洋思想の融合などについて理解し、論理的に説明することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	西洋における世界観の変遷、東洋思想と西洋思想の違い、東洋思想と西洋思想の融合などについて理解し、説明することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)
	20%	②	哲学や倫理学の諸問題について考えることができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	課題や討論への参加によって評価する。	哲学や倫理学の諸問題について考え、自説を論理的に説明できるようになる。また他者の意見を尊重し、異なる意見によって自説を発展させることができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	哲学や倫理学の諸問題について考え、自説を述べることができるようになる。また他者の意見を尊重し、異なる意見によって自説を発展させることができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	哲学や倫理学の諸問題について考え、自説を述べることができるようになる。また他者の意見を尊重して自説を発展させることができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)
			自分の生き方や人生の意味について考えることができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	発表や討論への参加によって評価する。	自分の生き方や人生の意味について深く理解することができるようになる。また他者の生き方や価値観を尊重することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	自分の生き方や人生の意味について理解することができるようになる。また他者の生き方や価値観を尊重することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)	自分の生き方や人生の意味について考えることができるようになる。また他者の生き方や価値観を尊重することができるようになる。(機A-1,情A-1,メC-1,生-2)
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○			◎			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実習・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	60	40	100	
基礎的理解					25	85	
応用力(実践・専門・融合)					15	15	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0	
主体的・継続的学修意欲						0	
授業概要、方針、履修上の注意	課題を出します。 学期の終わりには自分史を書いてシェアしていただきます。 期末試験は行いません。討論への参加、授業中の発表、課題によって評価します。						

教科書・教材		「哲学の謎」野矢茂樹著(講談社現代新書)			
授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習(予習・復習)内容	セルフチェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末					
16	イントロダクション、哲学、	2	授業の進め方の説明、仏教の基礎【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
17	哲学、倫理学	2	西洋哲学史(古代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
18	哲学・倫理学	2	西洋の宗教史【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
19	哲学・倫理学	2	西洋哲学史(中世から近代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
20	哲学	2	哲学の根本問題(心とからだの関係)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える	
21	哲学	2	哲学の根本問題(意識と実在など)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える	
22	哲学	2	哲学の根本問題(私的体験など)【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える	
23	哲学	2	哲学の根本問題(自由と規範、言葉と経験など)【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える	
24	哲学	2	発表(哲学の根本問題)【Ⅲ-C】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】	課題、討論に備える	
25	哲学・倫理学	2	西洋・日本哲学史(近・現代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
26	心理学	2	意識と無意識、心理学の4つの勢力【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
27	哲学	2	西洋哲学史(現代)【Ⅲ-C】	課題、討論に備える、発表準備	
28	哲学・倫理学	2	生きる意味の考察【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
29	哲学・心理学	2	自分史発表【Ⅲ-C】	課題、討論に備える	
30	哲学・倫理学	2	西洋哲学史(現代)【Ⅲ-C】	発表準備	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	

① 課題に沿ったレポートを作成する	各2時間×10回
② 討論準備	各2時間×15回
③ 発表準備	10時間

(モデルコアカリキュラム)

・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)